

平成24年度事業報告

はじめに

平成24年4月1日公益社団法人としての道を踏み出した大阪府剣道連盟は、当初予定していた事業をすべて完了し、無事、公益社団法人としての初年度を終えることができた。

平成23、24年度の2年間の任期であった第1期目の代議員もその任を終え、3月には、25、26年度任期の新代議員選出選挙が行なわれ、2期目の代議員260名が選出された。

一般社会の状況に目をやれば、昨年末、実施された衆議院議員選挙により、政権は交代し、閉塞感に覆われていたムードを一新、株価の上昇、円安効果、デフレからの脱却などようやく景気回復の兆しが見られる社会情勢となってきた。しかしながら、引き続き異常気象やTPP交渉、領土問題等困難な外交交渉、テロの恐怖、さらには消費税の増税、憲法改正など、大きな問題も立ちほだかっている。

かかる状況の中、強い日本、元気な日本復活のため、振れない歪みのない日本人本来の精神を取り戻すべく、武道精神が見直され、中学校における武道必修化の導入となった。剣道の普及には絶好の機会を得た訳であるが、その矢先、昨年末、発覚した大阪市内高校での体罰問題、全柔連での暴力問題などスポーツ界全体の信頼を揺るがしかねない事件が発生した。大阪府剣道連盟としては、いち早くこの問題の重要性を認識し、直ちに対策会議を開き、取り組み方策を検討した。

平成24年度計画の個別事業の実施状況を概括すれば、まず、オール大阪として実施した暑中稽古は4000人もの剣士が参加し、成功裏に終了することができた。また、弛まない稽古の成果は、全日本剣道選手権における男女アベック優勝をはじめ、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会、実業団大会、警察官大会での優勝、さらに世界大会優勝への貢献など、見事な花を咲かせる結果となった。

さらに特記すれば、本年2月実施された大阪武道協議会主催の武道8団体による大阪武道祭（演武大会）では、各武道ともに素晴らしい演技が披露され、剣道のみならず武道全般にわたる発展の明るい展望を感じさせられた一年であった。

以下平成24年度事業計画に基づき実施した具体的事業経過について述べる。

I. 公益事業

1. 個人会員および登録団体の入退会状況

個人会員数は、高校生相当年齢2,468名、大学生相当年齢1,152名、一般11,448名であった。なお、中学生以下の登録者は、7,842名で、その合計は22,910名であった。昨年度と比べると、高校生相当年齢及び一般はやや増加、大学生相当年齢はやや減少となった。中学生以下の登録者は倍増以上の結果となり、剣道人口がやや増加の傾向にある様子もうかがえるが、個人会員制（登録制）が周知され、認識されたものであると考えられる。

本年度の入会登録団体は16団体あり、退会登録団体は2団体で、本年度末の登録団体数は551団体と14団体増加した。

2. 定款第4条（2） 「講習会の開催及び指導者の育成」

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及

発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、審判法3回、日本剣道形3回、指導法4回、女子剣道普及のための稽古会・講習会を3回、合計で13回開催した。

剣道では、地区・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。地区においては、審判法10回、日本剣道形8回、指導法8回、合計で26回開催し、職域（大阪剣道協会、中学校体育連盟、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署）においては、10回開催した。

上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけている。居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など10回講習会を行い、杖道では、8回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

3. 定款第4条（3） 「各種大会の開催」

- 本連盟主催分・・・ 6月17日（日）第49回大阪杖道大会
6月30日（日）第45回大阪府少年剣道大会
7月 8日（日）第59回大阪府剣道優勝大会
9月 8日（土）第42回居合道段別大会
9月16日（日）第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
11月10日（祝）第9回大阪府女子剣道優勝大会
11月25日（日）第35回関西杖道優勝大会
12月 2日（日）第54回大阪居合道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第7回目を迎え、全都道府県からの参加を得て（小学生47チーム、中学生48チーム（但し大阪府チームは各2チーム出場）、無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の再生を促進するため、(財)地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会である。

- 本連盟主管分・・・ 4月29日（祝）第60回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
5月27日（日）大阪市長杯第56回市民剣道大会

4. 定款第4条（4） 「府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣」

次のとおり派遣した。

- 3月31日（土）～4月 1日（日） 第47回剣道西日本中央講習会 神戸市
北村、松岡、米崎
4月15日（日） 第10回全日本選抜剣道八段優勝大会 名古屋市
石塚、小坂、船津、神崎
4月29日（祝） 第60回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 大阪市
牛草、森田、森永、勝見、川上、友井、西、戸高
5月16日（水）～20日（日） 第50回剣道中堅剣士講習会 奈良市
松浪、長濱、鈴木
5月25日（金）～27日（日） 第15回世界剣道選手権大会 イタリアノバラ市
役員：宮坂
審判主任：島野大
選手：木和田、古川、大城戸、大石、山本

- 7月14日(土)～15日(日) 第12回近畿剣道連盟夏季講習会 奈良市
花澤、米村、江藤、愛甲、大森
- 7月16日(祝) 第4回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 東京都
椎葉、和田、小森田、石塚、川内、三宅
- 8月19日(日) 第67回国体 近畿ブロック大会 和歌山県白浜町
少年男・女、成年女子 13名
- 9月2日(日) 第51回全日本女子剣道選手権大会 姫路市
片渕、山本、石塚
- 9月16日(日) 第58回全日本東西対抗剣道大会 宮崎県宮崎市
佐藤、清家、吉田
- 9月16日(日) 第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 大阪市
小学生チーム 2チーム
中学生チーム 2チーム 計4チーム
- 9月30日(日)～10月2日(火) 第67回国民体育大会 岐阜県関市
少年：男・女、成年：男・女
4チーム
- 第25回全国健康福祉祭は、宮城県で開催予定であったが、東日本大震災の影響により中止
- 11月3日(祝) 第60回全日本剣道選手権大会 東京都
肱岡、木和田、榎田

5. 定款第4条(5) 「称号および段級位の審査ならびに段級位の授与」

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は6,247名で、前年より10.6%の増加であった。居合道・杖道は、前年度よりもやや減少した。

6. 定款第4条(6) 「功労者の表彰」

- ①平成24年度 全剣連 剣道有功賞 笹月 繁
高田 明
井上 純一
- ②八段昇段 剣道 宮本 一宏
江藤 善久
- ③平成24年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 三島地区 | 北清水講武会 | さつき剣心会 |
| 大阪北地区 | 榎本剣友会 | 古市小学校剣道教室 |
| | 淀川警察少年剣道推進会 | |
| 大阪南地区 | 生野剣道少年団 | 白水剣友会 |
| 北河内地区 | 長尾枚方剣心会 | |
| 中河内地区 | 八尾市剣道協会南 | 石切誠心館 |
| 堺地区 | 福泉剣道会 | 八田荘剣友会 |
| | 赤坂台剣道クラブ | |
| 泉州地区 | 泉佐野玄武館 | 舞剣道会 |
| | 武泉会 | |

④平成24年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金賞	岡田 幸雄
銀賞	井関 一生
〃	森 洋子
団体賞	心明館剣道部

⑤第15回世界剣道選手権大会

男子団体の部	優勝	木和田・古川・大石
女子団体の部	優勝	山本

⑥第60回全日本剣道選手権大会

優勝 木和田大起

⑦第51回全日本女子剣道選手権大会

優勝 山本真理子

⑧第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

小学生の部 優勝 大阪府Bチーム

中学生の部 優勝 大阪府Aチーム

⑨平成24年度全国警察剣道選手権大会

女子の部 優勝 山本真理子

⑩平成24年度全国警察剣道大会

団体 優勝 大阪府警察

⑪第55回全日本実業団剣道大会

優勝 パナソニックエコソリューションズ

⑫第46回全日本女子学生剣道選手権大会

優勝 小森田 渚
(大阪教育大学)

⑬平成24年度全国高等学校定時制通信制体育大会第43回剣道大会

女子団体の部 優勝
大阪府チーム

女子個人の部 優勝
豊谷 美咲

⑭第37回全日本選抜少年剣道個人錬成大会

中学生の部 優勝 内橋 響希
(東陶器春風館)

7. 定款第4条(7) 「その他前条の目的を達成するために必要な事業」

①普及活動の推進

新公益法人移行に向け、個人会員状況の把握に努めると共に、普及委員(地区担当理事)を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して36回開催され、活発な活動が行なわれた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された37回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生対象に、ほぼ例年どおり73回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等の活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を始めた。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

安全講習会

剣道を行なうにあたって、安全対策は最重要課題である。現在、AEDが多くの場所・施設に設置されており、その正しい使用方法・緊急時の処置など救急救命の研修が必要であると考え、9月に「新しいガイドラインに沿った蘇生法『心肺蘇生法・AEDの使い方』」をテーマに、専門家を招聘して研修会を開催し、多くの受講生が参加し、大きな反響を得た。

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は168団体2,916名と横ばい傾向にある。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は82件で、昨年度に比べ大幅に増加した。重大事故・重大傷害の発生は報告されていないが、四肢の捻挫や骨折が多く、その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが数多く報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也増加の傾向にあり、安全第一・事故防止に努力せねばならない。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1. 全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計901冊を販売した。

2. 広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、

総数31件、総計665,000円の協力を得た。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を4回、理事会を4回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動は、新たに委員会を設けるなどして、活発な活動を行なった。常設委員会として、総務、法規整備、安全・綱紀、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、居合道、杖道の19専門委員会を設置し、運営を行なった。強化委員会の中には一般男子、女子部、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。さらに、平成23年度から個人会員制を実施したことに伴い、IT委員会中心に事務全般にわたるシステム化を推進した。

以上

平成24年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連盟主催	審判講習会	3回	9名	150名
	日本剣道形講習会	3回	8名	152名
	指導法講習会	4回	33名	152名
	女子稽古会・講習会	3回	13名	105名
計		13回	63名	559名
地区職域	審判講習会	16回	25名	762名
	日本剣道形講習会	12回	23名	802名
	指導法講習会	8回	28名	355名
	計	36回	76名	1,919名
合計		49回	139名	2,478名

6月24日(日) 全日本剣道連盟後援講習会 剣道指導法 於舞洲アリーナ
全剣連派遣講師：網代 忠宏範士 参加：73名

9月9日(日) 心肺蘇生法、AEDの使用 於大阪市中央体育館
講師：西本 泰久(大阪医科大学 救急医学教室 准教授) 参加：99名

(2) 各種大会の開催

5月27日(日) 大阪市長杯第56回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝 男子の部 トールエクスプレスジャパン(株)本社 於修道館
女子の部 大阪拘置所 参加：75チーム
402名

6月30日(土) 第45回大阪府少年剣道大会 於舞洲アリーナ
優秀チーム 参加：216チーム
787名
高学年：穴師剣道会、小曾根剣友会、羽曳野剣道錬成
低学年：小曾根剣友会、寺内剣友会、竹の子剣道クラブ

7月8日(日) 第59回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
優勝 男子一般 パナソニックエコソリューションズ社本社 参加：201チーム
女子一般 大阪剣道協会 1,053名
高校男子 清風高等学校

9月16日(日)第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)

於舞洲アリーナ

参加:小学生の部 47チーム

中学生の部 48チーム

小学生の部 優勝 大阪府Bチーム

中学生の部 優勝 大阪府Aチーム

11月10日(日)第9回大阪府女子剣道優勝大会

於舞洲アリーナ

個人戦の部 優勝 一部:藤山 二部:紀田

三部:藤井

参加:104名

団体戦の部 優勝 一部:大阪剣道協会A

二部:春風会B

参加:32チーム

104名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月15日(日)第4回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選

於修道館

代表:和田、小森田、石塚、川内、三宅

参加:53名

5月20日(日)第67回国民体育大会・成年の部・大阪府予選

於修道館

代表:(男子)大嶋、榎田、佐藤、石田、牛草

参加:109名

(女子)石塚、近藤、西田

6月16日(土)第51回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選

於修道館

代表:片淵、山本、石塚

参加:26名

第24回全国健康福祉祭みやぎ大会は、東日本大震災の影響により中止となったため、大阪府下選考会を開催せず。

8月5日(日)第60回全日本剣道選手権大会・大阪府予選

於修道館

代表:脇岡、木和田、榎田

参加:60名

平成25年2月24日(日)第61回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選

於修道館

代表:松井、中間、加藤、浦田、木和田、徳岡、矢野

参加:181名

(4) 審査会

6月3日(日) 東大阪アリーナ

7月28日(土) 大阪市中央体育館

10月7日(日) 大阪市中央体育館

11月23日(祝) 泉佐野市民総合体育館

平成25年 1月27日(日) 大阪市中央体育館

3月20日(祝) 舞洲アリーナ

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,748	2,055	637	432	375	6,247	+602	+10.6%
(うち女性)	872	548	146	115	64	1,745	+ 32	+ 1.8%
合格者数	2,159	1,292	347	191	130	4,119	+678	+19.7%
(うち女性)	635	321	84	46	9	1,095	+ 43	+ 4.1%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	691	477	244	60	32	—	1,504	+100	+7.1%
合格者数	89	65	2	60	32	—	248	+ 15	+ 6.4%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

5月 2日(水)～5日(祝) 第109回全日本剣道演武大会 京都市 参加者：491名
8月23日(木)・24日(金) 暑中稽古 於大阪市中央体育館
参加者：約4,000名

平成25年2月11日(祝) 第17回大阪武道祭 演武 於浪速スポーツセンター
参加：第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会小学生チーム12名及び指導者2名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

10月19日(金)～21日(日)

於舞洲アリーナ

第55回社会体育指導員(初級更新)養成講習会
第38回社会体育指導員(中級)養成講習会
第33回社会体育指導員(中級更新)養成講習会

12月7日(金)～9日(日)

於コスモスクエア交際交流センター

第89回社会体育指導員(初級)養成講習会
第57回社会体育指導員(初級更新)養成講習会
第35回社会体育指導員(中級更新)養成講習会

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 7日 (土) 第1回特別強化練習会	於修道館	参加126名
4月22日 (日) 第2回指導者講習会	於クボタ体育館	参加 68名
7月21日 (土) 第2回特別強化練習会	於大阪市立千島体育館	参加105名
8月 5日 (日) 夏季居合道講習会・全日本居合道大会選考会	於東淀川体育館	参加222名
10月 8日 (祝) 全剣連伝達講習会	於府立体育会館	参加163名
平成25年1月13日 (日) 新年合同稽古会	於修道館	参加110名
1月26日 (土) 第3回特別強化練習会	於修道館	参加159名
2月11日 (祝) 高段者特別錬成会 (英信流)	於修道館	参加 38名
2月24日 (日) 春季居合道講習会	於東淀川体育館	参加220名
3月 3日 (日) 高段者特別錬成会 (無外流)	於和泉市幸小学校	参加 30名

(2) 各種大会の開催

9月 8日 (土) 第42回居合道段別大会	於府立体育会館	参加205名
12月 2日 (日) 第54回大阪居合道大会	於舞洲アリーナ	参加1,374名

(3) 予選会の開催

9月29日 (土) 第54回大阪居合道大会・大阪府予選会	於修道館	参加210名
------------------------------	------	--------

(4) 審査会

8月25日 (土) 夏季居合道審査会	於府立体育会館
平成25年3月 9日 (土) 春季居合道審査会	於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	37	41	14	33	21	146	△19名
合格者数	31	33	10	17	9	100	△18名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	17	9	8	3	2	—	39	+3名
合格者数	5	3	0	3	2	—	13	+5名

(5) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日 (水) 第108回全日本剣道演武大会	京都市	参加71名
5月 3日 (祝) 審査会	京都市	
7月 6日 (金) 審査会	佐賀県	
7月 7日 (土) ~ 8日 (日) 全剣連地区講習会	佐賀県	参加57名
9月 8日 (土) ~ 9日 (日) 全剣連中央講習会	京都市	参加 代表3名
10月20日 (土) 第47回全日本居合道大会	静岡県	参加25名
11月17日 (土) 審査会	東京都	
平成25年2月11日 (祝) 第17回大阪武道祭 演武	於浪速スポーツセンター	参加：光行良一 - 山本 靖

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月14日(土) 春季講習会	於東淀川体育館	参加94名
5月13日(日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加41名
6月23日(日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加43名
7月 8日(日) 伝達講習会	於川西市総合体育館	参加48名
8月12日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加43名
9月 9日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加48名
10月 7日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加44名
10月27日(土) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加90名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月17日(日) 第49回大阪杖道大会	於川西市総合体育館	参加185名
7月 8日(日) 第59回大阪府剣道優勝大会	於大阪市中央体育館	
演武 全日本剣道連盟杖道形	中野伊織	— 帆谷増幸
内田流短杖術	石河和彦	— 古谷重勝
一心流鎖鎌術	鹿島 晃	— 坂上 亨
一角流十手術	下谷光生	— 小野尚弘
11月25日(日) 第35回関西杖道優勝大会	於川西市総合体育館	参加150名

(3) 審査会

4月30日(振休) 於修道館

11月18日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	9	14	18	13	2	56	△35名
合格者数	9	14	16	9	2	50	△10名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	1	6	1	1	0	—	9	△1名
合格者数	1	0	0	1	0	—	2	△2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(4) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日(水) 第108回全日本剣道演武大会	京都市	参加16名
6月 2日(土)～3日(日) 第21回全剣連杖道中央講習会	勝浦市	派遣 2名
8月18日(土)～19日(日) 全剣連杖道地区講習会	岡山県岡山市	参加22名
10月14日(日) 第39回全日本杖道大会	広島県広島市	参加56名
11月11日(日) 全国杖道大会	福岡県福岡市	参加18名
平成25年1月19日(土)～20日(日) 全剣連杖道地区講習会	東京都	参加12名
2月11日(祝) 第17回大阪武道祭 演武	於浪速スポーツセンター	
	参加: 服部知司 — 古谷重勝 鹿島 晃 — 坂上 亨	
3月16日(日) 杖道体験講習会	於森ノ宮医療学園	一般受講者18名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 24 年度事業報告 附属明細書

平成 24 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 25 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟